

工事現場の地中から大量の廃棄物を発見

国道8号 加賀拡幅事業 加賀市分校町地先

- 金沢河川国道事務所では、加賀地域の国道8号について、「交通渋滞の緩和」、「安全性の向上」、「まちづくりの促進」を目的に「加賀拡幅事業」を推進しています。
- 加賀拡幅事業の工事現場（加賀市分校町地先）において、構造物（擁壁）設置のため掘削作業を行っていましたが、9月4日（木）に地中から大量の廃棄物が発見されました。
- 廃棄物は、地表面から約2.0m深い場所から発見され、木くず、廃プラ、コンクリート殻、瓦くず等が土砂と混在し、その量は約160m³程度と推定されます。
- 金沢河川国道事務所では、工事業者からの報告を受けて大聖寺警察署及び石川県へ届出、報告をしました。（平成20年9月8日）
- なお、詳細については現在調査中です。



①掘削時の状況



②掘り出された廃棄物

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
工務第二課長 盛田 義昭
TEL (076) - 264 - 8800 (代表)

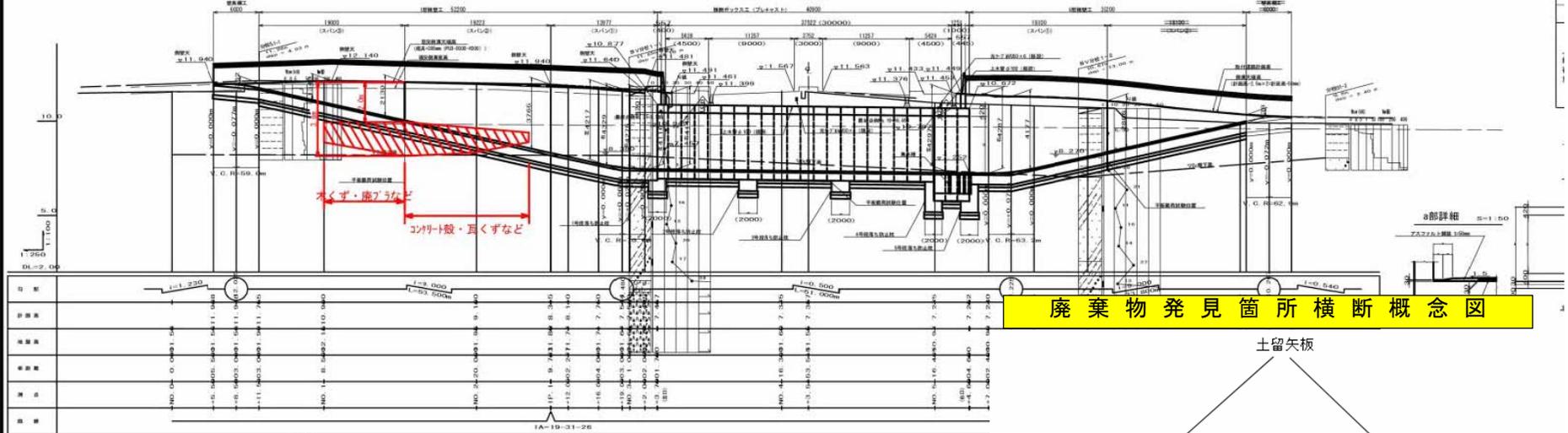
廃棄物発見箇所位置（加賀市分校町地先）



函渠工一般図

分校地区 (NO. 20+11.8)

側面図 縮尺 1:1000
原尺 1:250



廃棄物発見箇所横断概念図

土留矢板

